

報道関係者 各位

市民14,000人で作る「奥能登国際芸術祭2020プロジェクト発表会」 開催時間の短縮並びに参加者限定開催のお知らせ

開催日：2020年3月8日（日）

2020年3月8日（日）に開催を予定しております「市民14,000人で作る『奥能登国際芸術祭2020プロジェクト発表会』」につきまして、国内での新型コロナウイルス感染の発生状況を踏まえ、国や関係機関などの動向を注視しながら協議を重ねた結果、感染の拡大防止並びに参加者の安全を確保するため、規模を縮小し、開催時間の短縮並びに関係者のみの参加に限定して開催することといたします。
大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。



photo by Mao Yamamoto
総合ディレクター 北川フラム
(アートディレクター)

南条嘉毅 (アーティスト)

ご取材いただけます場合は、別紙の申込書によりご連絡いただきますようお願い申し上げます。

開催概要

- 名称：市民14,000人で作る「奥能登国際芸術祭2020プロジェクト発表会」
日時：2020年3月8日（日） 13:30～14:30（13:00開場）
会場：珠洲市多目的ホール ラポルトすず 大ホール（石川県珠洲市飯田町1丁目1-8）
ゲスト：総合ディレクター 北川フラム（アートディレクター）
奥能登国際芸術祭実行委員長 泉谷満寿裕（珠洲市長）
南条嘉毅（アーティスト）ほか
内容：第1部 「奥能登国際芸術祭2020」概要説明
・ 作品展開テーマ
・ 参加アーティストほか
第2部 「大蔵ざらえ」概要説明

参加者：報道関係者、奥能登国際芸術祭実行委員、珠洲市区長会連合会（市内各地区区長会長）、
珠洲市議会議員

◆取材お申込み

別紙の申込書にご記入のうえメールやFAXまたはお電話にて、3月5日（木）までにご連絡ください。

*「大蔵ざらえ」プロジェクトとは・・・

珠洲市の高齢化率が50%を超え、空き家や高齢者世帯が増えている。一方で、その家庭に受け継がれてきた歴史や、祭りなどの文化を感じられる大切なものが各家庭の押し入れや蔵に眠っている。珠洲市内全域の家庭に眠る大切なもの（道具類等）と、その思い出や記憶を集め、整理し、美術作家、映像作家、建築家などのアーティストが加わって、珠洲の歴史が感覚的に伝わる劇場型の民俗博物館のようなアート作品を制作するプロジェクトです。



ご取材・広報についてのお問い合わせ

奥能登国際芸術祭実行委員会事務局 担当：灰庭、小菅
〒927-1214 石川県珠洲市飯田町13部120番地1（珠洲市奥能登国際芸術祭推進室内）
TEL：0768-82-7720 FAX：0768-82-7727 E-mail：press@oku-noto.jp
公式WEBサイト oku-noto.jp
Facebook <https://www.facebook.com/okunotojp>
Twitter <https://twitter.com/okunotojp>
instagram <https://www.instagram.com/okunotojp>



奥能登国際芸術祭
珠洲
SUZU 2020
OKU-NOTO TRIENNALE

市民 14,000 人で行く「奥能登国際芸術祭 2020 プロジェクト発表会」

参加申込書

ご記入のうえ、メールまたは FAX にてお申込みください。

(お電話でのご連絡でも結構です。)

奥能登国際芸術祭実行委員会事務局行 申込締切 2020 年 3 月 5 日 (木)

E-mail press@oku-noto.jp FAX 0768-82-7727 TEL 0768-82-7720

市民 14,000 人で行く「奥能登国際芸術祭 2020 プロジェクト発表会」

日 時 : 2020 年 3 月 8 日 (日) 13:30~14:30

会 場 : 珠洲市多目的ホール ラポルトすず (石川県珠洲市飯田町 1 丁目 1-8)

貴社名	
貴媒体名・部署名	
お名前	様 計 名参加
同伴者お名前	様
ご連絡先 TEL :	FAX :
E-mail :	
通信欄	